

あめ
公募したお題で制作した
敗北と陵辱のストーリー

漫画61ページと
差分付きイラストを収録

イラストは
タイツ版と生脚版あり

ヒロイン工学
HEROINE ENGINEERING
研究所

プロスペクト
ヒロイン工学研究所









































































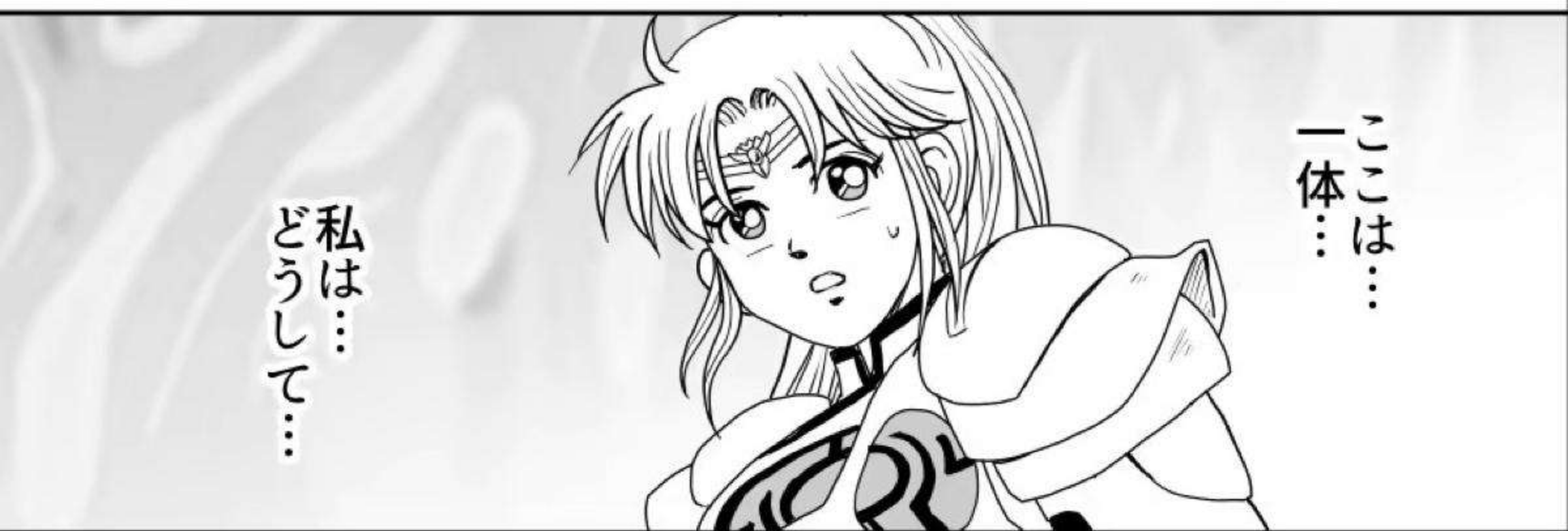






プロスペクトは読者参加を通じて創作活動を進める企画です。この作品は皆様から頂いたアイデアをもとに制作しました。この作品に対する感想やご意見などを参考にしつつ今後の作品制作の構想を練る予定ですので、是非読者アンケートにご協力下さい。アンケートページのURLは同梱の「アンケート」というファイル内に記載してあります。





ここは…
一体…

私は…
どうして…



…そうだ！

私は
あのとき
ミス
トに
突撃
して





もっとも



その魂にも
すぐに退場
してもらえな



まだ
みん
な
は
戦
っ
て
な
ら
ん
だ
い

私だっ
て
最
後
ま
で
諦
め
な
い
!





ウウツ！
何だ？



どうして？
私の攻撃は
通用しない
はずなのに

ミストが
退いた？

これはツ
光の闘気！

たあああッ！

この体は
私の魂

そして
ミストは
暗黒闘気の
集合体

思念体
同士の戦い
だから

攻撃を
当てることも
可能になる！



闘魔
傀儡掌！



調子に乗るな小娘！
貴様の動きなど
簡単に封じることが
出来るのだ！



影で体だけ
操って勝とうだ
なんて最低よ！



「真の強さは
心・技・体が
合わさって
初めて
生まれるもの
うッ…」



闘魔傀儡掌…
私の技
嫌いよ…！

あなたは強さを求めて
いたのではなく
ただ冒険して
いるだけよ！



ぐはあッ

強い……ッ
この勢い……ッ
闘魔傀儡掌では
止められぬ……ッ！！

この娘……ッ
ヒュンケルの
肉体を手にの
入れるまでの
使え捨てた
侮つていた
思い

一体なぜ
ここまで
強力な闘気を
放てるのだ？
……ッ
探らねば！





現実の
世界では
ほとん
ど死
んだ
ミ
ス
ト
も

この世界で
ならば
倒すことが
できる!!



…勝てる!



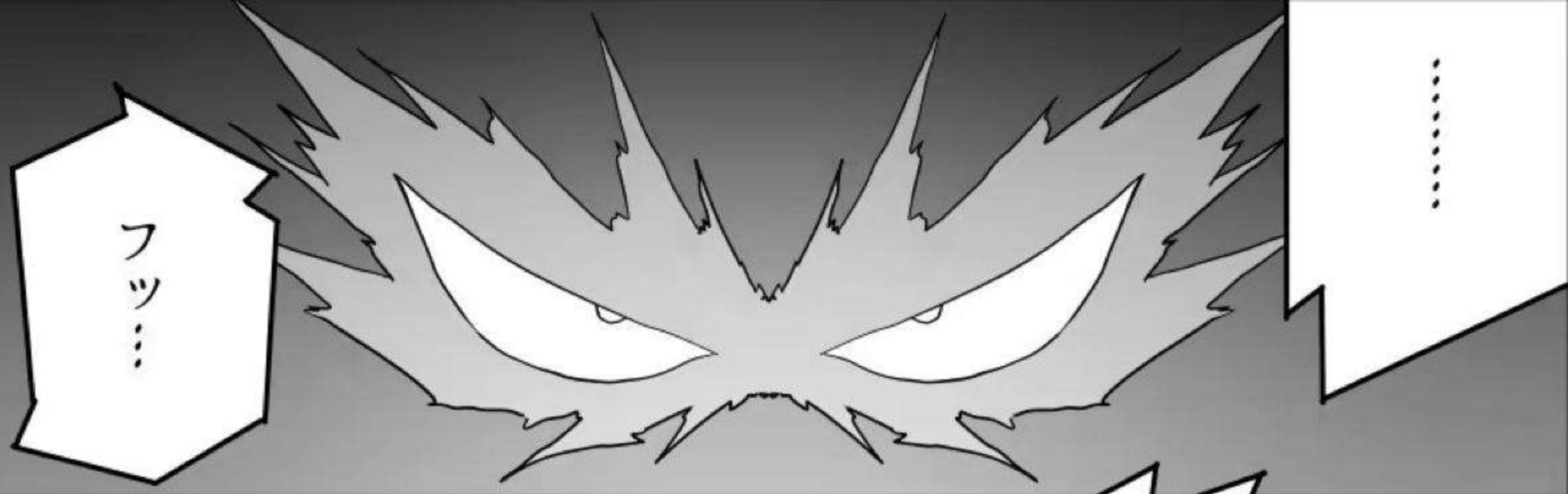
これ以上誰も…

失わない
ために…!!



正義を信じ
闘気を
高める
んだ

仲間の
ためにも
ミストは
ここで
私が倒す!



フツ...

フハハハッ
なるほど
ここで私を倒し
仲間を助けたいし

それが貴様の
パワーの源とい
うわけか！



：いやなもの
だとな
思っ
てな



事実を知っていると
それが滑稽に
見えてくるのだ

—それの
おかし
いの！



：？
何を
言っ
て...



ぐわああああ
ッ！



ビクッ

今のは
たしかに
クロコダインの
声……



外の世界で
何かが
起きている



貴様にも
事実を教え
やろうと思
聴覚を繋い
やったのだ

可哀そうだが
オレの闘気拳で
ミストごと……

待てヒム！
待てくれ！

ヒム……
二人が何
い争つて
いる？

……知り
たいか？
では視覚も
繋げてやろう







フツ
理解した
か……

だから皮肉で
滑稽だと言っ
たのだ



よく見ろ
貴様が
仲間を
たたく
私を打
倒そう
戦つた
いたど
とき

すでに
貴様の
我が操
となら
仲間た
居たの
いたの
だ



現に貴様
は今の
肉体に干
渉できぬ
ではないか

……魂を完全
に消さずとも
肉体の操作は
可能だ



どうして！
私の魂は！
まだここに
こうして……！

理想を説く前に
まずは現実を
直視するのだな！

クロコダインと
そのネズミは

貴様を
攻撃しよう
とする
ヒムたちを
止めて
いる
ところを
殺されたのだ

アバンはもちろん
ヒムやラーハルトも
強がっているが
本気では戦えぬ

貴様らの正義が
脆弱さを晒して
滅びゆくさまを
見ているがいい！

許せない……！

あなたは
悪魔よ！

絶対！
私が倒すわ！
ここで



……ッ
やはり……
簡単には……
折れぬか……

闘気も
パワーも
むしる
上がっている

……だが！



ハッ！
このまま
一気に……







…フン
たった一撃で
終わりにか
口ほども
ないな



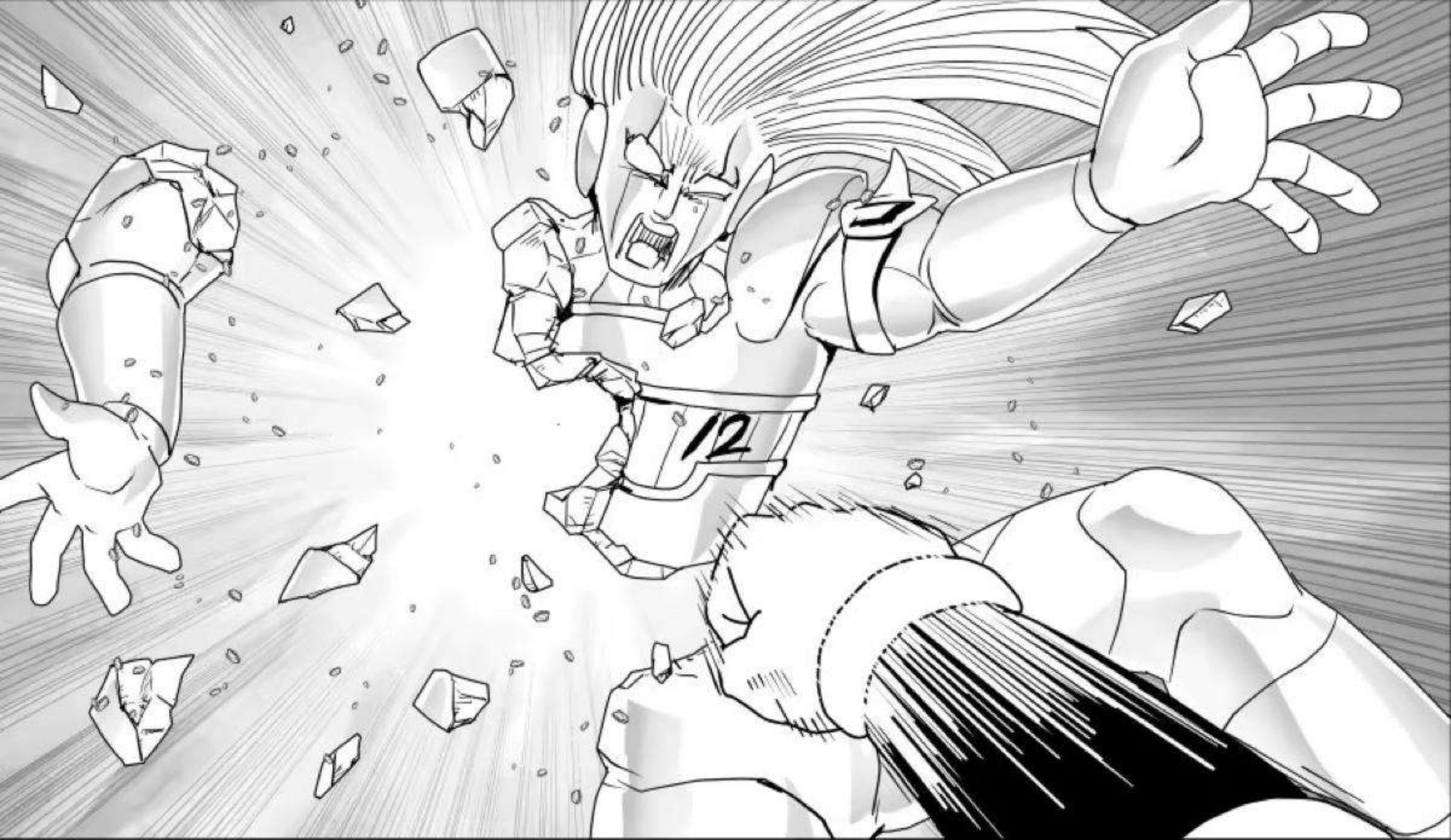
使い手が
貴様では
宝の持ち腐れ
というもの…



戦闘力だけは
なかなかの
ものだが

見るがいい！
私が使えば！
あそこまでの
強さになるのだ





超金属をも
砕くらしい
素晴らしい
パワー……

バーン様の
肉体には及
ばないが
遠く及ば
ないが
利用価値
があれば
言えども
やっつて
よいなを



正義のために
習得した技が

魔王軍の
殺戮の
道具に……！

何としても
阻止しな
いと……！



ヒム！

全闘気を
拳に集中して

はあああ
——ッ!!

この悪魔を
打ち砕く!

ククク...

ハハハッ!



……？
手応えが
おかしい！

突き刺さる
というより
拳がミストの
中に吸い込ま
れていくよう
だわ

闘気もど
んだん送り
込んでい
る！は
ずな
さっ
比
効
い
て
い
な
い

な……
なぜなの
……？

も……
もう……

ハア……

ハア……

気力が
もた
ない……

どうした
正義の力
使徒の力
は
そんな
ものか？

早く私を
倒さない
と
仲間が
全滅するぞ



うおおオオオ
ツ!!

ラーハルト!



ダイに
閃華に
裂光拳
を!!!

この姿に油断した
ダイに使えば
一撃で葬ることも
夢ではない!

生命を内側から
破壊する!
実に素晴らしい
技だな!



絶対に
ダメ!

もう
私の魂なんて
どうなっても
いい!!!



すべての
精神力を
闘気に変えて
ミストの中で
爆発させる!!

アは
ツあ

やっ... やった...!

ブッ

ッ

やっ
つた……！





フフ…あれは
光の闘気では
仲間の死を
知った瞬間
貴様の闘気
すでに光の
失つていた
の属性を

あなたは
悪魔よ！

許せない…！

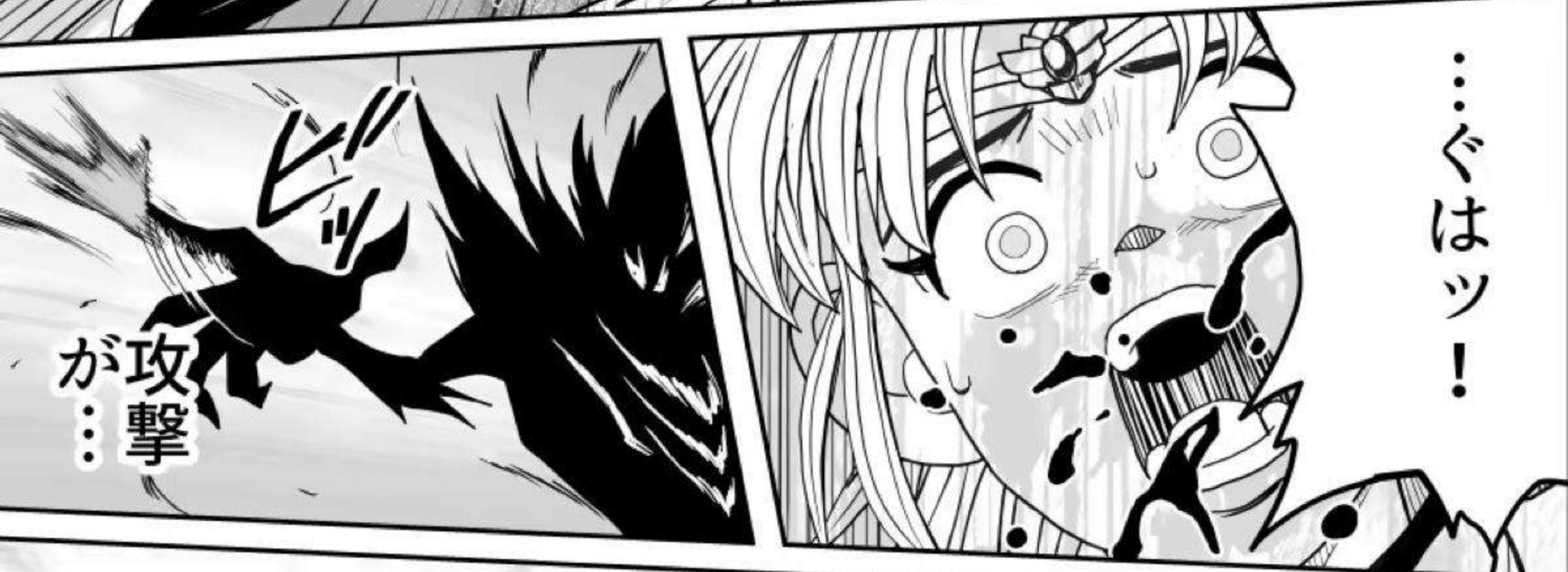
すべての
精神力を
闘気に変
ミストの
爆発させ
る中で

はああ
アツツ



貴様が私に
打ち込んで
怒りと憎し
みの闘気

私はそれを
吸収したけ
暗黒闘気に
変換して
再組成したのだ



…ぐはッ！

が攻撃



速くて
見えない！



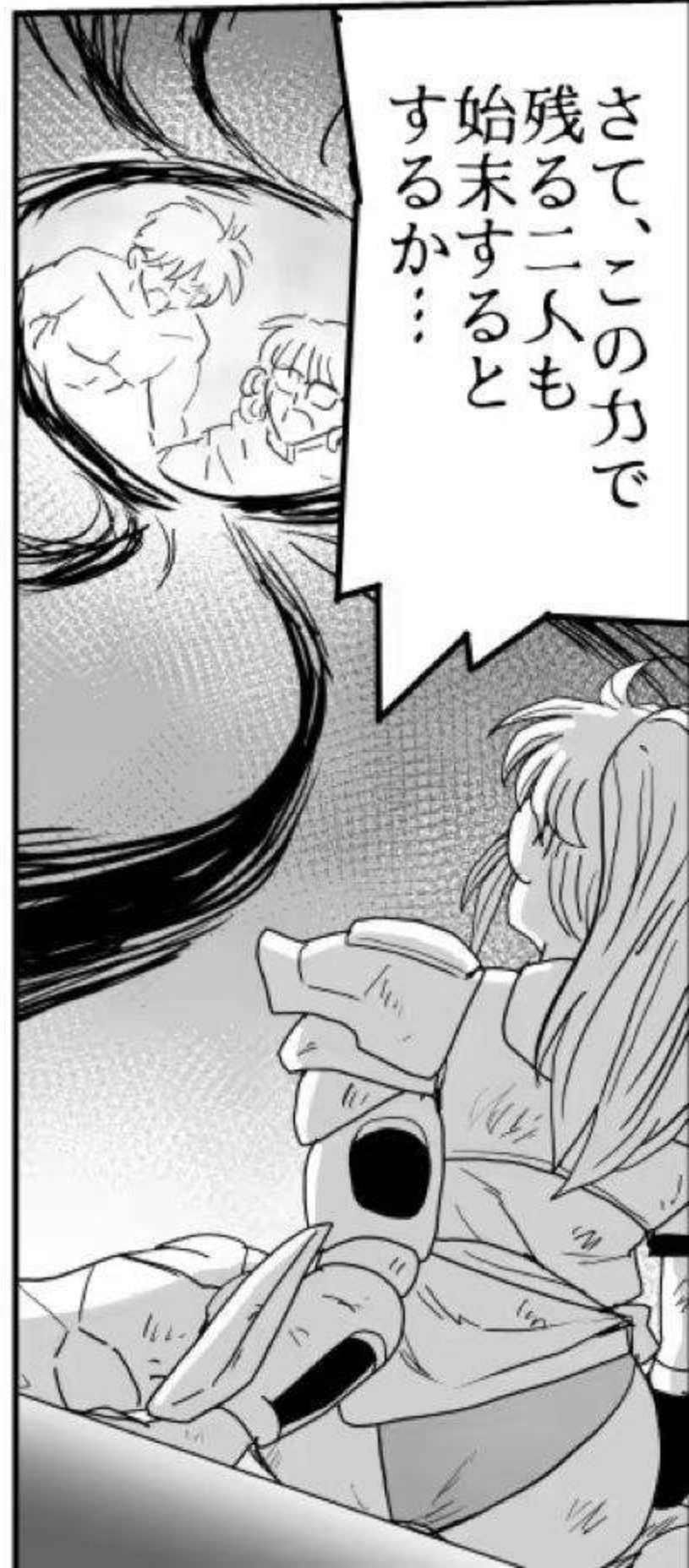
そうだ！
貴様は私を
倒そうと
躍起にな
ながら

自らの
エネルギーを
暗黒闘気の
素材として
提供したの
だ！

体が
重い……



さて、この力で
残る二人も
始末すると
するか……



ヒュンケル！

先生！





そこに
這いつくばって
見ているがいい！

ぐ……ッ

ハアッ



アバンの使徒が
師と兄弟子
その手にかける
クライマックスの
シーンだ！

だめ……ッ



先生！
ヒュンケル！

いいから
私を倒して！

お願い！

早く
私ごと
ミストを…



カッ!

カッ!



……
アバンと
ヒュンケルは
死んだ……



次は
ダイを殺し
魔王軍は
完全勝利する



たた：
立た：
なきや…

立って
戦わ
なきや…

私がミストを
倒さない
世界が滅んで
しまう…

それ：
なの：
に…

力なき
正義もまた
無力な
ですよ

もう…
力が湧いて
こない

アバシ
先生…

ごめんなさい…



わたしは無力で……



フツ……

貴様の心が折れ
光の闘気が
消えていくのが
わかるぞ……



フ……

闘魔傀儡掌



う…ああッ



…さっき
この技が嫌いだと
言っていたな



いいだろう！
が軽蔑する
だいい！！



正義だの
真の強さだの
さかしげに
説きながら

貴様に一体
何ができた



結局貴様は
その技によって
倒されるのだ！

相手の能力も
たしかめず
ただ怒りに
まかせて突進し

その拳句が
このザマでは
ないか

師とは
似ても
似つかぬ
愚かさよ

そして最後は
泣いて懇願する
ことしか
できなかった

うああッ

無思慮で無力！
ただ感情に訴える
しか能がない！
貴様は最低の弟子だ！

さあ、今こそ
この現実を
魂に刻め！

アバンも仲間も
すべて弱
愚かでのせ
貴様のいい
死んだで！



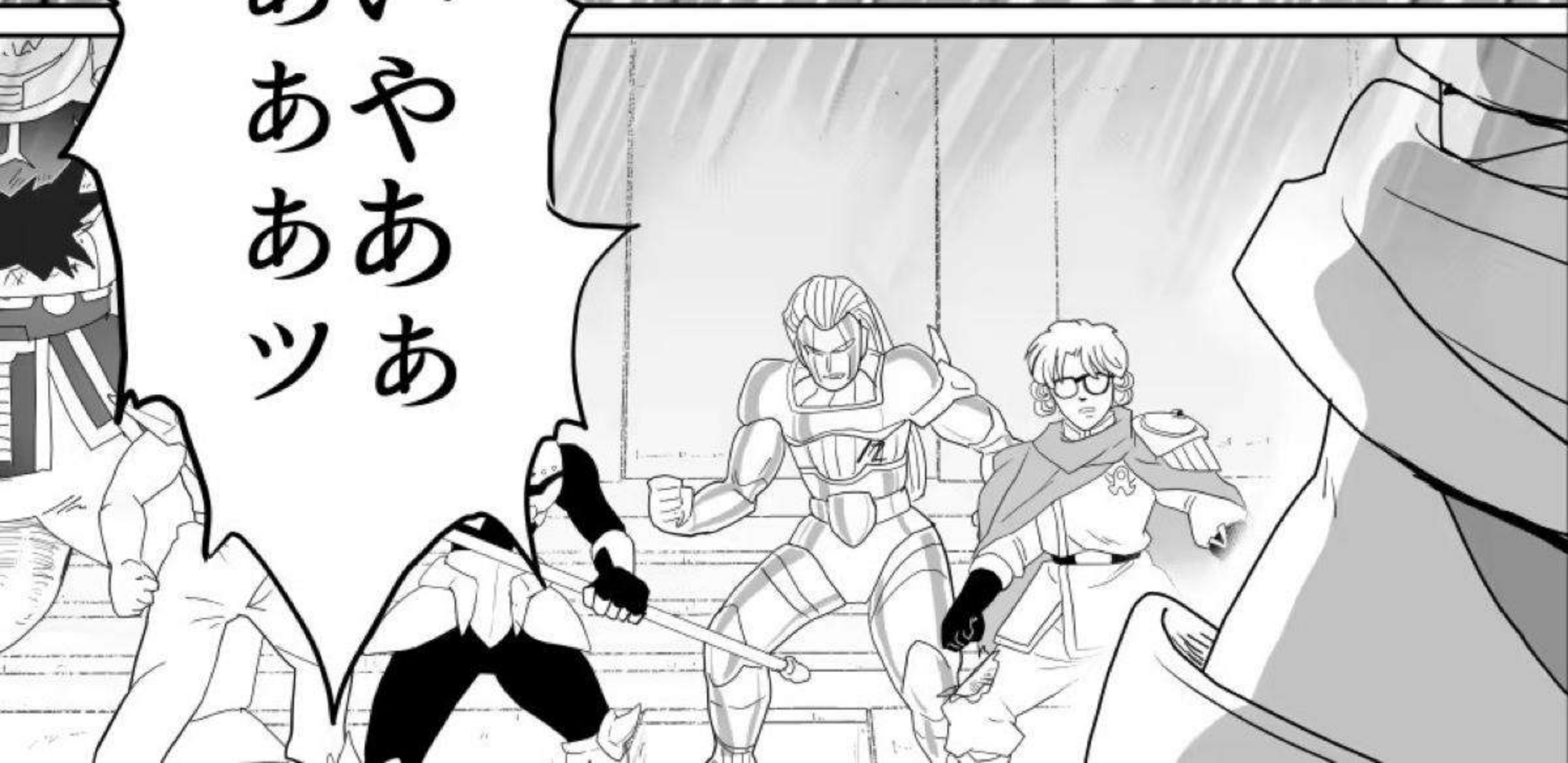
みんなの死は…だなが

私の…
せい…

わたしが…

い…や…

あああ
あああ
あああ



うわああああ
ああああッ

精神を崩壊させ
魂を消すのだ
この体を頂く
ためにな……！



あ……あッ

アアッ！

や、やめろ！
マアムさんを
どうする気だ！？



我が暗黒闘気は
すでに精神に侵入し
これから魂への
直接攻撃を開始する

あ……ッ

ああああアア
アアア……ッ

絶望……
無力感……
そして
罪悪感……

それらを
闇の力で増幅し
この女の魂が
潰えるまで
注入する



一体彼女の
中で何が
起きていた
というのだ…



さきほどまで
強く感じられた
マアムの
闘気が
どんどん
弱くなっ
ていく…



…くッ
暗黒闘気を
使った
精神攻撃か



下手な手出しを
しない方が
この女のため
だぞ…

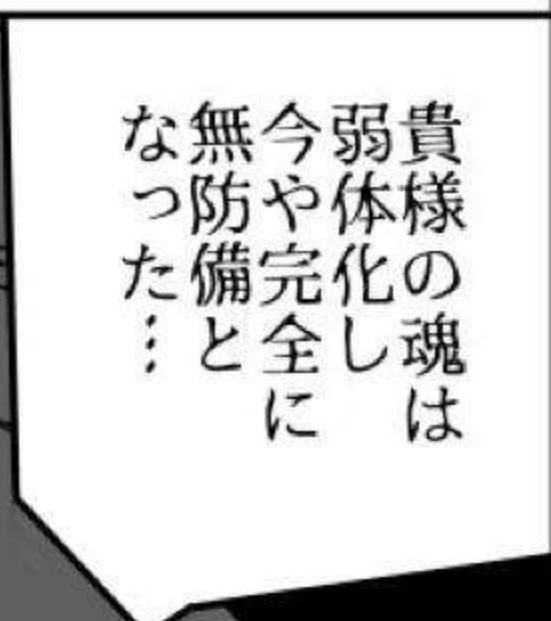
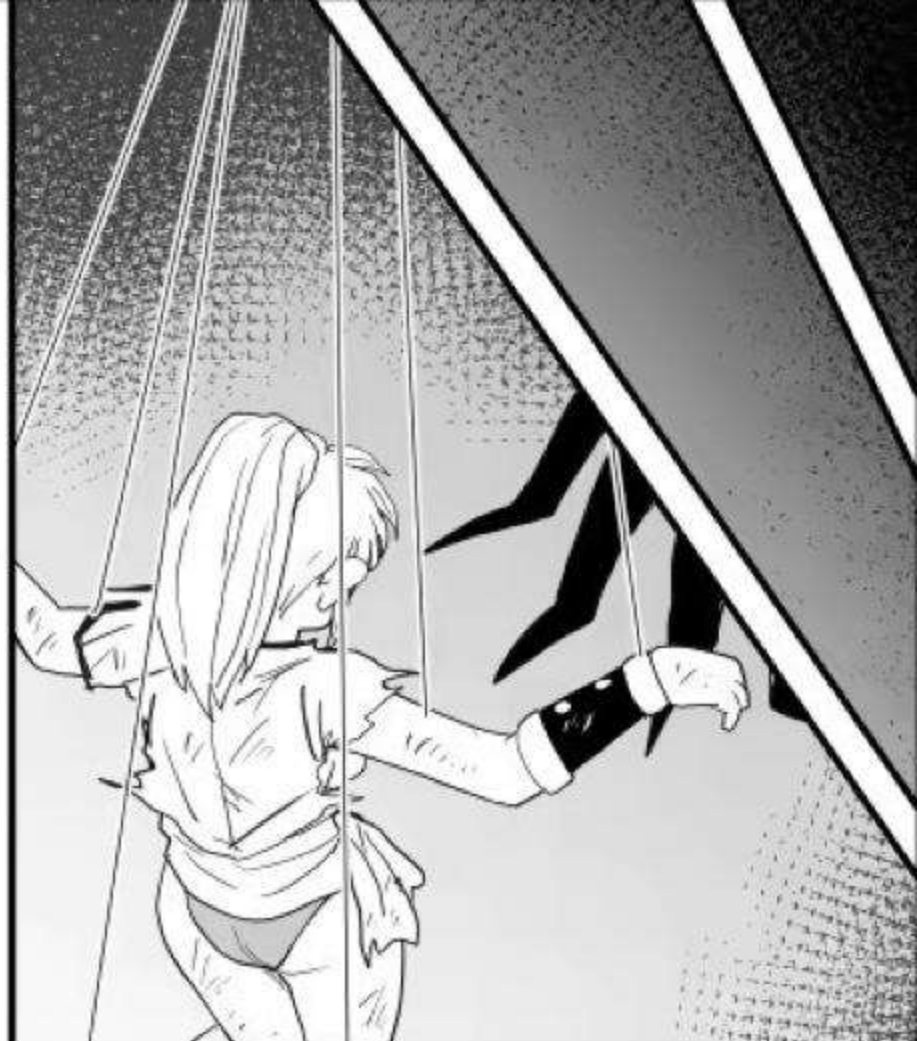


ここで強引に
引き剥がそうと
すれば逆に
体と心が永遠に
引き裂かれる
ことになる

ハ？

ハ？

この女の魂が
完全に闇に
侵食されるまで
そこで見物して
いるがいい…



魂を中から
攻略できる

!!

アッ

アッ

...

オアアッ

やはりここか...
見つけたぞ
魂の核を...

ドッ ドッ

フン、生意気な
心が折れてもなお
我が闇の力に
抵抗しておるわ…

ドッ

ドッ

…とは言え
はねのけるだけの上
力がもはやない以上
無駄なあがきよ…



フン……!

女の体になど
興味はないが……

あ……ッ
ああ、ア……!

ひぐッ

魂に楔を
打ち込むには
これが一番
効果的なのでな





暗黒闘気が
核の中に
侵入を始めた

闇の力が
正義の魂を
犯し

魔王軍の
新たな
暗黒戦士を
誕生させるのだ

あ……ああッ

世

世

ああ…
闇の力が…

…く…
あああっ！

私の中に
入つて
きて…

魂が…

溶かされて
いく…

い…やッ

いやあああ





くっ...

ひぐ...ッ



うッ...
えエ...ア...



ククク...
よく見て
いるがいい...



もうすぐだ...
あと少しで
この女の
魂は落ちる...



やめて
エエッ
エエッ

大丈夫です
マアムさんて
ぼくがついて
ます！

マアムさんは
強い人です！

そんな
ガス幽霊
マアムさんなら
気合だけで
吹っ飛ばせ
ます！

…そうだ！
マアムの
魂の強さを
信じるんだ！

ミストといえど
簡単に消すこと
など出来ぬはずだ…

マアム…！！

心優しい少女に
あまりに重い
ものを背負わせて
しまった…！！

私は
あのとき

もう
何も
出来ない……

私は
このまま……

闇に飲み
込まれて……

消滅
するの……？

ククク……
感じるぞ
貴様の絶望と
恐怖の念を

消えるのが
怖い……？

ああッ

あ……

光の属性を
もつ魂が
闇に染まる
ときに発する
懊悩の波動……
実に甘美だ……

そう言えば以前
貴様にはケルを再び
ヒュンケルを再び
魔道に堕たすのを
邪魔されたことが
あつたな！

フツッ！
良いことを
思い付いたぞ

貴様の魂は
完全には消さず
欠片だけ残す
ことにしよう

完全無力化された
その魂を通じて
貴様はさらなる
絶望を味わうのだ

まずはダイ！
次にレオナ姫！
だがそれでは
終わりはしない



地上に待機する
人間どもは
全員惨殺

今度は触覚も
繋げてやる
仲間を手にかける
感触を味わうがいい

貴様の名は
二人の勇者を
殺し

人類の希望を
断つた裏切り者
として広まり

家族や
郷里の者
たちは

憎悪と絶望で
狂った人間たちに
よって屠られる
のだ



もうやめてえ
エエエ——ッ

いやいや
いやアツ



いい…
やッ



何も
見たく
ない…



…もう
これ以上



消えて…
しまいたい…



…うん





ウワアアア!

アッ!



想定外に
手こずったが
これでようやく
肉体が手に入る

え？

想定外に
手こずったが
これでようやく
肉体が手に入る

え？

この娘の名は
何と聞いた
かな……

まあいい
どうせ
ヒュンケル
の肉体を
手に入
れたら
だ
廃棄
処分
だ

この娘の名は
何と聞いた
かな……

まあいい
どうせ
ヒュンケル
の肉体を
手に入
れたら
だ
廃棄
処分
だ

い...な...に...を...
い...つ...て...!

ケ...ビ...ユ...ン...
ケ...ル...の...?
肉...体...!

い...な...に...を...
い...つ...て...!

ケ...ビ...ユ...ン...
ケ...ル...の...?
肉...体...!



…っ！
まだ思考する
力が残って
いたか！

うっと
おいしい!

さっさと
消えろ!

うっと
おいしい!

さっさと
消えろ!

貴様の
価値は
肉体だけ
だ！

精神などで
消し飛んで
しまえ！

アツ

アアアアツ

さあ
いよいよだ
よく見ておけ！



うぐうわあああ
アアアアアツ

光が闇に
飲み込まれ

暗黒の戦士が
誕生するぞ



やめろお
オオオツ

離れろ！
こらあ！

体ならぼく
のをやる！

ユサ

マアムさん
から出ていけ

ブッ

ポッ

ポッ

ビッ

…ツ！
マアムさん！

気が付かれ
まし……

へ？



ヒッ

イイ...

アアア
アアア
アアア

ア...

カ





想像して
いた以上に……
いい身体だ……



さっ……

この女の
「技」と
「体」……

どう使って
やるかな……
フフフ……

END

アンケート実施中



「プロスペクト 1.1」読者アンケート

このアンケートはヒロイン工学研究所が制作した同人作品「

プロスペクト 1.1」をご購入された読者様を対象としたアンケートです。

頂いたご意見は今後の制作の参考にさせていただきます。

※作品のネタバレになる回答もOKです。

※匿名での回答になります。Googleアカウントをお持ちの方は下に登録しているメールアドレスが表示されることがありますが、この情報が送信されることはありません。

読者アンケートのページを開設したので、ご意見をお寄せ下さい。皆様のご意見、ご要望を参考にしながら、今後の制作に活かしていきたいと思えます。

アンケートページのURLは同梱の「アンケート」というファイル内に記載してあります。

「プロスペクト 1.1」

発行日 2025年9月20日
発行 ヒロイン工学研究所
著者 TARE活(たれかつ)

【Twitter(現X)】

<https://twitter.com/heroinekougaku>

【Ci-en】

<https://ci-en.dlsite.com/creator/1016>

【Mail】

tarekatsu21@yahoo.co.jp

無断転載禁止

18歳未満の方の閲覧は
ご遠慮下さい